

様式第2-2号

令和2年度千葉県障害者スポーツ大会 個人競技参加申込書

身体

水泳

① 事業所(学校)名または市町村名 **稲毛特支** 個人番号 **2**

② フリガナ **千バ** **ハヤト** ③性別 **1 男** ④生年月日 **西暦 2004 年 6 月 1 日** 年齢区分 **1部(39歳以下)**

氏名 **千葉** **速人** 年齢 **満 15 歳 (2020年4月1日現在)** **2部(40歳以上)**

⑤ 現住所 **〒263-0042 千葉県稲毛区天台6-5** 生年月日と年齢が合わない場合が多い! 必ず確認!

TEL **〇〇〇-〇〇〇-△△△△**
 携帯 **△△△-〇〇〇〇-△〇〇〇**
 FAX **〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇**

⑥ 身体障害者手帳 **千葉県** 都道府県 **第〇号〇報** 市区 **記載漏れが多い! 必ず記入!** 障害名(手帳記載のとおり全文) **脊髄損傷による両下肢の機能全廃**

障害の原因となっている傷病名等(脳性 具体的に記入してください) **脊髄損傷** 記載漏れが多い! 必ず記入!

⑦ 精神障害者保健福祉手帳 **有** (手帳交付申請中の方を含む) **無** (取得の対象に準ずる方を含む) 精神障害の証明として用意できる関係書類(該当に〇)
 ・ 自立支援医療費受給者証
 ・ 精神保健福祉センター所長の精神障害者保健福祉手帳交付済み証明書

⑧ 障害の分類 **1** 肢体 **2** 視覚 **3** 聴覚・平衡、音声・言語・そしゃく機能 **4** 内部 **5** 精神 **全国大会出場希望**

⑨ 重複障害 **0** なし **1** 肢体 **2** 視覚 **3** 聴覚・平衡、音声・言語・そしゃく機能 **4** 内部 **5** 知的 **6** 精神 **有・無**

⑩ 障害区分

主たる障害の該当する番号1つのみ

1	手部切断	
2	片前腕切断または、片上肢切断	
3	片上腕切断または、片上肢切断	
4	両前腕切断または、両上肢切断	
5	両上腕切断または、両上肢完全片前腕および片上腕切断	脳原性麻痺 18 両下肢麻痺または上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能
6	片下腿切断または、片下肢不完全	19 片側障害で片上肢機能全廃
7	片大腿切断または、片下肢完全	20 その他の片側障害で走不能
8	両下腿切断または、両下肢不完全	21 その他走不能
9	両大腿切断または、両下肢完全片下腿および片大腿切断	22 浮具使用
10	片上肢切断および片下肢切断	視覚障害 23 視力0から0.01まで
11	片上肢不完全および片下肢不完全	24 その他の視覚障害
12	体幹	聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害 25 聴覚障害
13	第7頸髄まで残存	
14	第8頸髄まで残存	
15	下肢麻痺で座位バランスなし	
16	下肢麻痺で座位バランスあり	

⑪ 出場種目

種目・コード番号 **2101** 自己記録 **19.86**

種目・コード番号 **2102** 自己記録 **43.11**

種目・コード番号

自由形	25m	男子	1101	平泳ぎ	25m	男子	1103
		女子	2101			女子	2103
	50m	男子	1102		50m	男子	1104
		女子	2102			女子	2104
背泳ぎ	25m	男子	1105	バタフライ	25m	男子	1107
		女子	2105			女子	2107
	50m	男子	1106		50m	男子	1108
		女子	2106			女子	2108

⑫ 障害区分確認事項

障害区分1~22の方は、該当する箇所に〇印を付け、該当事項を記入してください。

ア 切断 (部位) **イ** 脊髄損傷 麻痺の程度 (**完全** 不完全)
 頸髄損傷 (四肢麻痺 ・ 対麻痺)
 頸髄損傷で座位バランス (**あり** なし)
 胸髄損傷で座位バランス (**あり** なし)

ウ 脳原性麻痺で、上肢に中等度以上の不随意運動や協調性低下が (**ある** ・ ない)

エ 脳原性麻痺で、上肢の関節可動域に制限が (**ある** ・ ない)

オ ウ・エの障害で、走ることが (**可能** ・ 不可能)

カ 脳原性麻痺の片側障害でストロークは (**両上肢・片上肢**) で行う

キ イ・ウ・エ以外の車いす使用(二分脊椎や骨・関節機能障害、切断など)の方で座位バランスが (**あり** ・ なし)

ク **日常生活で使用している補装具(装具・車いす・杖などが)が(あり・なし)**
【ありの場合必ず記入して下さい】
 ● 常用の補装具名 [**なし**]
 ● 常用でないが併用する補装具名 [**車いす**]

ケ 障害区分6~11(切断は除く)で、片足または両足で補装具なしで立つことが (**可能** ・ 不可能)

⑬ 特記事項

下記の項目の該当する番号等に〇印を付け、必要事項を記入してください。

- 特になし
- 規則上、スタート介助を認められている者(障害区分11・13・17・19・22)で、スタート時に (**競技役員(補助員を含む) ・ 許可された者**) による介助を希望
- 規則上、入退水時の介助を認められている者(障害区分11・13・14・15・16・17・19・22)で、入退水時に (**競技役員(補助員を含む) ・ 許可された者**) による介助を希望
- 障害区分23・24の方で、ターンおよびゴール時に (**競技役員(補助員を含む) ・ 許可された者**) による合図棒等でのタッピングを希望
- 障害区分22の方は使用する浮具の種類 ()
- 聴覚、音声・言語等に障がいのある者で、(手話通訳)を希望

参加申込書類が提出された時点で、下記の事項について同意があったものとして取り扱います。

- 大会プログラムには、競技運営上必要な氏名、障害区分、年齢区分、所属等の個人情報について掲載します。
- 大会当日は、報道機関による撮影、報道がされる場合があり、主催者においても撮影した写真を広報に使用することがあります。
- 主催・後援団体等のホームページで公式記録を公表することがあります。
- 申し込み時に提出された書類は、プログラム作成及び全国障害者スポーツ大会派遣事業にのみ使用し、その他では使用いたしません。

2 水泳競技

①～⑨、⑭については、2ページの「4の（5）各競技共通事項」を参照してください。

⑩「障害区分」

- ・ 主たる障害（「⑧障害の分類」で記入した障害）の該当する区分番号を1つ選び、番号を「○」で囲んでください。（参考：参加予定団体説明会資料P13～14「障害区分の解説」）

⑪「障害区分確認事項」

- ・ 障害区分が1～22（肢体不自由）の方は、障害区分確認事項の該当する箇所を「○」で囲み、該当事項を記入してください。

ア

切断部位を記入してください。障害区分1～11（切断・機能障害）を確認する際の参考とします。

イ

障害区分13～16（脳原性麻痺以外で車いす常用）を確認する際の参考とします。

※ 座位バランスの判定は、「へそ」の位置の知覚レベルの有無が一つの判断基準となり、背もたれのない座位の状態で両手の支えなく座ることができる場合は「座位バランスあり」と判断します。

具体的な判定方法として、座位姿勢でからだを前に倒して、手を使わずにからだを起こすことができれば「座位バランスあり」と判断できます。

ウ・エ

障害区分17～21（脳原性麻痺）の方は、記入してください。

※ 脳原性麻痺とは、脳性麻痺、脳血管疾患や脳外傷等による脳に起因する機能障害を言います。

「ウ」の「上肢に中程度以上の不随意運動や協調性低下」とは、自己の意思に反して勝手に上肢が動いたり、上肢は動くが運動のコントロールができず、目的どおりに動かせないなど、日常生活に著しい障害があることをいいます。

「エ」は上肢の関節に著しい障害があれば「ある」を、それ以外は「ない」を「○」で囲んでください。

※「上肢に中程度以上の不随意運動や協調性の低下」があるか否かは、Ashworthの痙性スケールを参考にして、グレード3「筋緊張は著しく増加し、四肢の他動運動は困難」と4「四肢は硬直し、屈伸できない」の場合は「ある」つまり四肢麻痺として分類されます。

具体的な判定方法として、座位姿勢で両手を真横（水平）あるいは真上に挙げる際に、スムーズにできず肘や手首が曲がってしまったり震えてしまったりする場合は「ある」と判断できます。

オ

障害区分17～21（脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等））を確認する際の参考とします。

ク

日常生活で使用している補装具があれば、記入してください。ある場合は、常用の補装具と常用でないが併用する補装具を分けて記入してください。運動機能、移動能力等を把握するための参考とします。

【参考】

- 1 手帳に「体幹機能障害、四肢体幹機能障害」等の記載があり、脳原性による場合には、障害区分17～21になります。
- 2 車いすを使用している脳原性麻痺の方で、手帳に「四肢体幹機能障害」等の記載がある場合、設問ウ・エが「ある」場合は障害区分「17」、「ない」場合は障害区分18の可能性あります。
- 3 設問オが「不可能」・設問ウが「ある」場合は障害区分17、設問オが「不可能」・設問ウが「ない」場合は障害区分18、設問オが「可能」・設問ウが「ある」場合は障害区分21の可能性あります。
- 4 脳原性麻痺の方で杖又は松葉杖を使用している場合は、障害区分19の可能性あります。
- 5 片側障害で、片上肢を使って泳ぐ場合は障害区分19、両上肢を使って泳ぐ場合は障害区分20、その他軽度の方は障害区分21の可能性あります。

⑫「出場種目」

- ・ 参加を希望する種目のコード番号と自己記録を記入してください。
2種目に出場を希望する場合は、「水泳競技実施要領」の（別表）種目順を参考にしてください。
- ・ 全国大会出場希望の有無のどちらかを「○」で必ず囲んでください。

※ 本大会の結果は、全国大会千葉県代表選手決定の参考資料となります。千葉県代表選手として、全国大会への参加を希望する方は、選手本人・家族・所属長の確認をとり、了解を得たうえで「有」を「○」で囲んでください。（全国大会派遣選手には、長時間の移動に耐えられ、6日間程度の集団生活が必要となります。）

⑬「特記事項」

- ・ 該当する番号を「○」で囲んでください。特記事項がない場合は「1 特になし」を「○」で囲んでください。

※ 番号 2、3、4 で「許可された者」を「○」で囲んだ方にIDカードを配付します。
※ 障害区分23は、光を通さないゴーグル着用が義務付けられています（各自で用意すること）。